

< 参考 > 関係写真

1 野菜関係写真 ＜拠点産地の形成＞



宮古島市:さやいんげん
平成31年1月23日認定



東村:かぼちゃ
平成31年3月27日認定

＜生産状況＞

① さやいんげん



さやいんげんの生産振興を図るため、おい性品種の節間伸長技術による収穫作業の省力化、長期栽培による単収向上技術の確立及び普及促進が図られ、生産量の増加が見込まれる。



② ゴーヤー



ゴーヤーの新品種「ていだみどり」

沖縄県における主要野菜として拠点産地を中心に、高い生産量で推移している。

また、ゴーヤーの生産拡大、単収向上を図るため、安定生産技術の確立や、試験研究機関で育成された優良品種の普及を行っている。

③オクラ



オクラは、県外市場においても品質に対する評価が高い。各産地とも出荷の前進化、台風対策を強化し、安定供給へ向けて取り組んでいる。

④かぼちゃ



かぼちゃは、国産の端境期となる冬春期の産地として、県外市場から要望が高い品目である。

近年は、国産需要の高まりから市場単価が比較的安定しており、貯蔵性も高く船舶輸送が可能であることから、離島を中心に生産量が増加している。



<第29回沖縄県野菜品評会>



農林水産大臣賞：さやいんげん
最高の名誉である農林水産大臣賞に輝いた平仲 健氏（八重瀬町）のさやいんげんは、形状の揃い、色のり等が高く評価された。



審査会の様子

2 花き関係写真 ＜第34回沖縄の花まつり＞

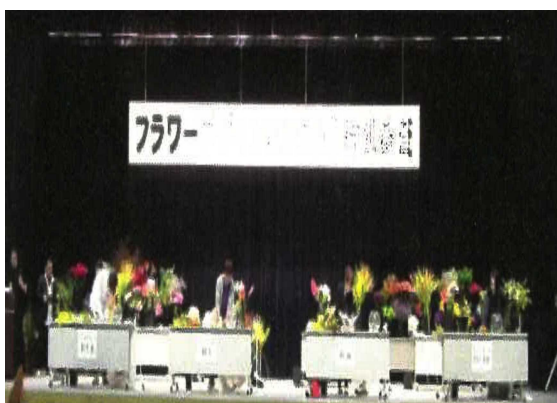
花き農家の栽培技術並びに品質の向上に対する意識の高揚を図り、花きに対する県民の理解と消費拡大を推進するため、沖縄の花まつりを開催した。

①第34回沖縄県花き品評会



出品点数429点のうち、厳正かつ公正な審査によって、金賞19点、銀賞31点、銅賞44点選ばれた。そのうち農林水産大臣賞に並里拓実氏の小ギク（太陽のきらめき）が選ばれた。

②第30回沖縄県フラワーデザインコンテスト



「アニバーサリー」のテーマに沿った75点が出品され、商品性、制作技術、芸術性、流行性を基準に審査を行い、金賞4点、銀賞7点、銅賞10点選ばれた。公開のフラワーアレンジメント及び花束製作技能審査を行った結果、沖縄県知事賞に飯室実氏（千年の響）が選ばれた。

＜花き生産関係事業＞



実証展示ほ：遮光ネットの導入
（トルコギキョウ今こそ生産加速事業）



気象災害対応型平張施設の導入
（災害に強い高機能型栽培栽培施設の整備事業）

＜花きの消費拡大及び県産花きの紹介＞



小中学校フラワーアレンジメント教室を開催し、花きの消費拡大を図った。



市町村で開催されたプロ野球キャンプで県産花きを紹介し、消費拡大を図った。



モノレール駅において県産花きを使用したフラワーアレンジメントを展示し、県産花きのPRを図った。



県内のホテルにおいて県産花きを利用したフラワーアレンジメントを展示し、県内外へ県産花きを紹介した。



おきなわ花と食のフェスティバル2019のイベントの一環として「花いけバトル沖縄」を開催した。多くの来場者へ沖縄県産花きをPRし消費拡大を図った。

3 果樹関係写真 〈第18回沖縄県果樹品評会〉



農林水産省生産局長賞
国頭村:宮城調義氏
タンカン



沖縄県知事賞
恩納村:照屋和江・勝利氏
アテモヤ



沖縄総合事務局長賞
大宜味村:照屋正和氏
フルーツシークワサー



入賞出品物の展示

〈第11回沖縄県マンゴーコンテスト〉



沖縄県知事賞 糸満市:山城裕樹氏

〈平成30年度果樹関係事業の状況〉



生食用パイナップル種苗増殖
(平成30年度いっぺーまーさんパイナップル強化事業)



パイナップル(サンドルチェ)販促PR
(平成30年度うちなートロピカルフルーツブランド強化戦略事業)



気象災害対応施設(強化型パイプハウス)
(平成30年度災害に強い強化型施設整備の導入推進事業)



栽培施設内環境制御装置(加温機等)
(平成30年度園芸産地機械整備事業)



パッションフルーツのウイルスフリー苗増殖
(平成30年度熱帯果樹優良種苗普及システム構築事業)

4 流通関係写真

○おきなわ花と食のフェスティバル2019（平成31年1月26日～1月27日）



○ゴーヤーの日セレモニー



○大田市場でのトップセールス



○マンゴー香りフェア



○とうがんの日消費拡大キャンペーン



○「うちな〜いい肉の日」キャンペーン



○「沖縄ナイト」への展示



○第16回「もずくの日」イベント



○山の日イベント・マイ箸づくり

